愛知県ハンガリー友好協会会報

2025 年春号

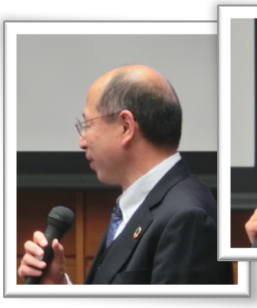
ハンガリーフェスティバル in 愛知

「ヒロシンタが奏でる平和の音楽とカロタセグのチャールダーシュ」

2025 年 4 月 20 日（13：30～15：30）名古屋国際センターホールにてハンガリーフェスティバルが開催されました。

はじめに当協会監事の武藤和之さん（元トヨタモーターハンガリー社長）の司会のもと、当協会会長の藤川政人参議院議員、顧問の酒井庸行参議院議員により開会のあいさつが行われました。

来賓として当協会副会長愛知県議会議員の寺西むつみさん、愛知県政策企画局国際監の柴田英昭さん、愛知県国際交流協会常任理事兼事務局長の來住南輝さん、名古屋国際センター理事長の眞野隆久さん、株式会社 HOKUTO corporation 代表取締役社長の寺田敏夫さんのみなさまにご臨席いただき、ご挨拶いただきました。



第一部　講演

第一部は講演会、駐日ハンガリー大使館アタッシェ（外交官）科学技術部門長フェレンツ・チャナードさんにより「ハンガリーにおける研究、テクノロジー、イノベーションダイナミックに発展する可能性」と題した講演が行われました。

講演はハンガリー語でしたが、リスト・ハンガリー文化センター文化担当・事務局の寺﨑裕美さんがわかりやすく巧みに通訳をされました。ハンガリー語の音を響きを耳にするよい機会にもなりました。ちなみに寺崎さんは愛知県のご出身です。

ハンガリー政府が理数系の研究に力を入れており、日本からも多数の留学生がハンガリーの大学に留学していること、人口比におけるノーベル賞受賞者の数は世界でもトップレベルであることなど、たいへん興味深いお話をうかがうことができました。

第二部　音楽と踊り

第二部では、ヒロシンタ（ツインバロン斉藤浩＋ヴァイオリン水野慎太郎）の素晴らしい演奏を楽しみました。

斉藤さんは日本を代表するツィンバロン奏者で、現在 NHK 大河ドラマ「べらぼう」のオープニングテーマで N 響と共演しており、大きな話題を呼んでいます。

水野さんはチェコ留学後アルゼンチンにも短期留学し、現地南米人らとタンゴバンドを結成し、ヨーロッパ各地で演奏されています。ちなみにヒロシンタは、おふたりの名前の浩（ひろし）と慎太郎（しんたろう）を組み合わせたものとのことです。

オープニングに「哀れに彷徨うつばめ」 Szegény vándor fecske、「ジャンパラ」Geampara が演奏され、続いてプロジェクターを使って「ツィンバロンの歴史、構造、種類について」のレクチャーがありました。

ツィンバロンという楽器は、コダーイの作品「ハーリ・ヤーノシュ」や、最近では現代音楽で使われることもありますが、ふだんはほとんど耳にしたり目にしたりする機会がありません。ツィンバロンを知るよい機会になりました。

続いて「星よ、星よ」 Csillagok, csillagok、「ティサの向こうに広がる彼方」 Tiszán innen, Dunán túl や日本歌曲「竹田の子守歌」「浜辺の歌」が演奏されました。

さらに斎藤さんの指導のもと、ハンガリーの歌「春風吹いたら」Tavaszi szél の歌詞を学び、みなさんといっしょにハンガリー語で歌い、会場は大いに盛り上がりました。

Tavaszi szél vizet áraszt, virágom,virágom,
Miden madár társat választ, virágom,virágom.

演奏に続いてラーザール・アティッラさん、大塚奈美さんご夫妻の「カロタセグの民俗舞踊（チャールダーシュ他）」が披露されました。ラーザールさんは、旧ハンガリー（現ルーマニア）のトランシルヴァニアのカロタセグ地方出身。大塚さんは、日本で幅広いジャンルの舞踊を学ばれた後ハンガリー政府奨学金留学生としてハンガリーに留学しました。

大塚さんによる「カロタセグの民俗舞踊について」のレクチャーもあり、ハンガリー民俗舞踊についての理解を深めることができました。

最後に「みんなで踊りましょう！」と、ヒロシンタの演奏でラーザール・アティッラさん、大塚奈美さんと一緒にみんなで踊って楽しみました。

会場にはハンガリー刺繍サークルの作品もたくさん展示され、カラフルなハンガリー刺繍の魅力にも触れていただきました。

今回のフェスティバルでは、講演がハンガリー語で行われたり、ハンガリー語の歌を聞いたり歌ったりと、ハンガリー語に触れるよい機会となりました。また、いっしょに歌ったり踊ったりして楽しむ体験参加型の催しとなり、参加者のみなさまにはハンガリーの文化に直に触れて大いに楽しんでいただけたと思います。

ハンガリー文化 見て聞いて体験

20日 名古屋で催し

中欧ハンガリーの文化に触れるイベント「ハンガリーフェスティバルIN愛知」（中日新聞社後援）が20日、名古屋市中村区の名古屋国際センターホールで開かれる。

県ハンガリー友好協会が、新型コロナウイルス禍を除き、毎年開催している。会場には協会の会員が作ったハンガリー刺しゅうが展示され、民族楽器「ツィンバロン」の演奏会や民族舞踊の公演がある。

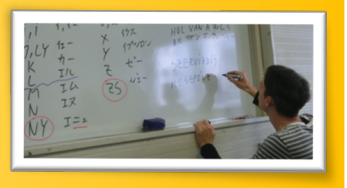
在日ハンガリー大使館の外交官（科学技術担当）による講演会もある。協会理事の志村美佐子さん(74)は「音楽に踊り、刺しゅう、講演。体中でハンガリー文化を楽しめるイベントになる」と来場を呼びかけている。

一般は1500円、中学生以下は無料。事前申し込みが必要。メール＝ambt@hotmail.co.jp＝に氏名、住所、電話番号を記して送る。問志村さん＝0568（76）4347

（三宅駿平）

来場を呼びかける志村さん。手前はハンガリー刺しゅう＝小牧市内で

ハンガリー語入門講座「ハンガリーにわくわく!!」



ハンガリー語入門講座にはハンガリー語を学びながらハンガリーについての情報を知りたいという方がたくさん参加してくださってます。

高校生のＯ君は、高校生交換留学で９月から１年間ハンガリーでホームステイをすることが決まり、春休みに 3 回受講しました。秋からのハンガリー生活を楽しみにしてます。ブダペストでコンサートやオペラ鑑賞、美術館めぐりを計画中の Ａ さんは図書館で早稲田先生のハンガリー語のテキストを借り自習するなど、とても熱心な方です。I さんはお嬢さんご家族がお住まいのブタペストに行きたくて、ジュラ先生や先輩受講生に生活事情などいろいろ聞いてます。津田塾大学国際関係学科を卒業されたＨさんは８月からハンガリーに行き、９月からブダペストにあるブダペスト・コルヴィヌス大学の海外参加者向け準備プログラムで学びます。来年、同大学のコミュニケーション・メディア研究科の修士課程に進学することを目指しており、その準備として語学やアカデミックスキルを学ぶ 1 年のプログラムです。ご主人のハンガリー赴任に伴い来年４月からハンガリーにご家族でお住まいになるＫさんは、お子さんの入園事情や日本人学校の状況などを聞いてます。ハンガリーはどんな国？　皆さんハンガリーの情報を求め、少しでもハンガリー語を話したくて短期間ですが参加してくださってます。ハンガリーを楽しんで頂けるお手伝いができてうれしいです。

第 6 回ハンガリー刺繍サークル作品展

日時：7 月 18 日（金）～21 日（月）10：00～18：00

会場：名古屋市栄「ギャラリーチカシン」

ハンガリー各地の刺繍、カロチャ、マチョー、ベーケーシュ、カロタセグ、シャールクズ、シオーアガールド、パローツ、ベレグ、ブジャーグなどの作品を展示します。大きな刺繍地図も作り展示します。みなさま、ぜひお出かけください。

2025 年春号をお届けします。初夏の兆しが感じられるこの頃ですが、会員のみなさまにおかれましては、いかがおすごしでしょうか。今年度は４月に「ハンガリーフェスティバル」を開催しました。ハンガリー語の講演に歌や踊り、ハンガリー文化を身体中で体験していただけたのではないでしょうか。刺繍サークル作品展にもぜひおいでください。

みなさまからのご意見や情報、記事などをお待ちしています。

愛知県ハンガリー友好協会
E-mail: ambt@hotmail.co.jp
http: //aicsimagyar.sakura.ne.jp/wp/